

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	名張市
------	-------------	-----	-----

番号	区分	事業名
2	基本・特別	木に親しむ木製遊具導入推進事業 (名張産木材利活用推進事業)
事業費		502,200円(うち交付金: 502,200円)

**1. 事業の目的**  
 名張産木材を材料とし、名張市内で加工した木のおもちゃを使って子ども達が遊ぶことで、木の持つあたたかさや、やさしさに触れ、木への親しみを育む。

**2. 事業の内容**  
 市内保育所、幼稚園及びこども支援センターに木製おもちゃを配布。  
**【事業実施主体】** 名張市  
**【事業費】** 502,200円  
**【事業の規模(事業量)】** 保育所(15か所)・幼稚園(6か所)の年長クラス31クラス  
 こども支援センター  
**【事業実施時期】** 平成26年10月14日～平成27年3月31日

**3. 事業の実績と効果**  
**【事業の規模(事業量)】** 保育所(15か所)・幼稚園(6か所)の年長クラス30クラス  
 こども支援センター  
**【事業の受益者数】** 幼児数 1,893人(保育所1,506人、幼稚園387人)

**4. 事業の評価と今後の取組方向**

**【事業の評価】**

評価の視点	コメント
有効性	幼少期から木とのふれあいを通じて、森林や自然環境を大切に思う気持ちを育むことができた。
効率性	保護者に対して税を還元することができた。
公益性(波及度)	幼児1,893人が木とふれあう機会を創出できた。

**【今後の取組方向】**

平成26年度のみの実施事業であるが、好評であるため、次年度以降の実施も検討していく。

**5. 写真**



木製遊具搬入状況写真



木製遊具使用状況写真



木製遊具使用状況写真

**6. その他特記事項**  
 配布した遊具にロゴマークを貼り、みえ森と緑の県民税を活用して作成したことを発信。  
 園児に対し、「名張産木材を材料とし、名張市内で加工した木のおもちゃ」であることを説明。



対策区分	3.森を育む人づくり	市町名	津市
------	------------	-----	----

番号	区分	事業名
2	基本・特別	森と緑の市民塾開催事業
事業費 350,557円 (うち交付金: 350,000円)		

1. 事業の目的

木のぬくもりや、木の良さを知ってもらうため、市内の小学生と保護者を対象として、森林や木材について学び、ふれあう場を提供する。

2. 事業の内容

市内在住の小学生と保護者を対象に「平成26年度夏休み森と緑の親子塾」として、木工細工や丸太切り体験、木の皮むき体験等を行った。

【事業実施主体】：津市

【事業費】：350千円

【事業の規模(事業量)】：参加者23組60人 開催回数2回

【事業実施期間】：平成26年8月3、17日

(参加者募集事務等：平成26年5月26日～平成26年9月3日)

3. 事業の実績と効果

開催回数：小学生と保護者(計2回)

参加者数：23組 60人

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	親子での森林に対する理解が得られた、また、生の木に触れる事で驚きや興味を持っていただく事ができた。
効率性	フェアとの同時開催を行う事により森林に対する理解等を効率的に事業実施ができた。
公益性(波及度)	全体で60人の参加があった。 (小学生26名、未就学児童4名、保護者30名)

【今後の取組方向】

児童・保護者から高い支持を得た事から次年度以降も当該事業を継続実施する。

5. 写真



木工細工の様子 (H26.8.3 撮影)



森林体験の様子 (H26.8.3 撮影)



森林に関する説明の様子  
(H26.8.17 撮影)

6. その他特記事項

開催にあたっての趣旨説明時に参加者に対し、この事業の財源に「みえ森と緑の県民税」が活用されている旨を周知した。



対策区分	3.森を育む人づくり	市町名	伊賀市
------	------------	-----	-----

番号	区分	事業名
4	基本・特別	地域の森と緑のつながり支援事業
事業費		243,462円(うち交付金: 243,462円)

**1. 事業の目的**  
 地域住民と森・緑・木材等森の恵みとの関係が薄くなってきているため、地域の子供達等が地域住民と共に森林・林業等への理解と関心を持ちつながりを感じられることを目的とする。

**2. 事業の内容**  
 住民自治協議会等が実施主体として、森・緑・木材と地域とのつながりを目的に、森や緑の学習活動として行う。木工体験(竹材等も含む)、間伐体験、植物・樹木観察、昆虫観察、地域の登山道の清掃ハイキングなど、森林・自然や木と関連した一般募集のイベント活動に対して、必要な費用を補助する。

**3. 事業の実績と効果**  
**【事業の規模(事業量)】** 6団体 **【事業費】** 243千円 (補助金額)  
 地域主催による、自然学習会や椎茸菌打ち体験、森林整備に関する学習会などが開催された。

**4. 事業の評価と今後の取組方向**

**【事業の評価】**

評価の視点	コメント
有効性	地域主体による森林環境教育などができた。
効率性	地域コミュニティの中での事業であり効率的である。
公益性(波及度)	地域住民の里山や緑の環境についての関心が高まった。

**【今後の取組方向】**  
 森を育む人の育成と森を大切にす地域コミュニティづくりが必要であり、今年度の実施内容を啓発して取組を広げていく。

**5. 写真**  
 椎茸菌打ち体験、講師による「森の働き」「自然観察」の学習とのようす。





**6. その他特記事項**  
 市HPへの掲載により広報と事業募集を実施。



対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	熊野市
------	-------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本・特別	緑化大会開催事業
事業費		1,000,000円（うち交付金：1,000,000円）

**1. 事業の目的**  
 森林や緑を大切に思い・育む人づくりのため、植樹活動やさまざまな行事を通じて多くの市民等に森林や緑について学び・ふれあう機会を提供し、森を身近に感じてもらうことにより、森づくり活動等への関心を醸成する。

**2. 事業の内容**  
 松本峠付近の熊野古道沿いの林地において、市民等によるサクラやモミジなど広葉樹を植栽する「熊野の森ふれあいフェスタ」を開催した。  
 【事業実施主体】三重県緑化推進協会  
 【事業費】1,000千円  
 【事業の規模（事業量）】開催回数：1回、植栽面積：0.20ha、参加者：100人  
 【事業実施時期】平成26年5月24日


**3. 事業の実績と効果**  
 開催回数：1回  
 参加者：100人

**4. 事業の評価と今後の取組方向**  
**【事業の評価】**


評価の視点	コメント
有効性	参加者からは、森林づくり活動に参加できてよかったとの声が寄せられている。
効率性	ボランティアにより植栽したい者を広く募ったので、植栽経費が不要であった。
公益性(波及度)	サクラやモミジなど広葉樹の植栽による森林整備面積：0.20ha

**【今後の取組方向】**  
 植樹を行った場所が熊野古道松本峠付近ということもあり、新たなビューポイントとして、後世に伝えていく。

**5. 写真**



市民などによる植栽状況



会場の様子

**6. その他特記事項**  
 植栽を示す現地看板を設置した。



平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	名張市
------	-------------	-----	-----

番号	区分	事業名
3	基本・特別	木に親しむ図書購入事業
事業費		99,272円(うち交付金: 99,272円)

**1. 事業の目的**  
 森林環境への関心や要望が高まるなか、次代を担う子ども達や市民の森林や木材についての知識を深める。

**2. 事業の内容** 平成26年～平成30年  
 森林や木材の知識と親しみを深めるために、市立図書館や学校に森林や木材に関する本を設置する。平成26年度から平成30年度まで継続する計画。  
 【事業実施主体】名張市  
 【事業費】99,272円  
 【事業の規模(事業量)】市立図書館に森林や木材に関する図書37冊を購入・設置  
 【事業実施期間】平成26年10月14日～平成27年3月31日

**3. 事業の実績と効果**  
 【事業の規模(事業量)】市立図書館に森林や木材に関する図書37冊を購入・設置  
 【事業の受益者数】年間利用者数 300,000人

**4. 事業の評価と今後の取組方向**

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	森林の持つ多面的機能の理解と関心を広げて学ぶ場をつくることができた。
効率性	専用コーナーを設置することで、図書館利用者の多くに図書に触れてもらうことができた。
公益性(波及度)	年間300,000名の利用が見込まれる。

【今後の取組方向】  
 森林の持つ多面的機能の理解と関心を広げて学ぶ場をつくることができ、みえ森と緑の県民税の役割についても学ぶことができるため、今後も継続していく。

**5. 写真**



図書の展示状況写真



図書の展示状況写真



図書の装備写真

**6. その他特記事項**  
 「森林・木材コーナー」を設置し、みえ森と緑の県民税を活用して購入したことを発信。購入した図書にシールを貼り、みえ森と緑の県民税を活用して購入したことを発信。



対策区分	3.森を育む人づくり	市町名	津市
------	------------	-----	----

番号	区分	事業名
3	基本・特別	美里水源の森整備事業
事業費 3,870,000円(うち交付金:3,870,000円)		

1. 事業の目的

美里水源の森の水源涵養林等活かして、子どもたちが自然を体験できる場を造成し、自然や環境保全を学べる場として活用し、この森を核として緑と水と文化に抱かれた心育む美しい里づくりを進める。

2. 事業の内容

美里水源の森は典型的な里山景観を呈し、かつては人の手が入った里山林の名残や地形・植生の特長を活かしつつ「水源の森」としての条件を備えた自然状態の森林の姿をめざし、自然を体験し学びながら成長する「子育ての場(森)」づくりに、地域住民や企業・団体への活動支援を行いながら森の整備を行う。

【事業実施主体】：長野川流域環境保全協議会(津市美里総合支所)

【事業費】：3,870千円

【事業の規模(事業量)】：A=5.8ha(実測8.8ha)活動

【事業実施期間】：平成26年4月1日～平成27年3月31日

森づくり体験 平成26年11月15日、玉切体験 平成26年11月18日

【内容】：基本・実施設計委託・クヌギ等の広葉樹の植栽・森づくり体験、間伐・玉切体験

3. 事業の実績と効果

基本・実施設計 1式

開催回数 2回(平成26年11月15日 大人40名小学生6名、平成26年11月18日 小学生29名)

参加者数 75名(46名+29名)

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	水源の森の整備を行う活動を通じ、自然保護、水源保護の重要性を啓発し、自然環境の理解と地域への愛着心を育む森の整備が図れる。
効率性	基本・実施設計に当たっては、市内業者参加による競争入札を行った。
公益性(波及度)	現在の水源の森利用者数は75名の参加となった。

【今後の取組方向】

次年度も緑と水と文化に抱かれた心育む美しい里づくりを継続して進める

5. 写真



森づくり体験の様子(H26.11.15)



森づくり体験の様子(H26.11.15)



間伐・玉切体験の様子(H26.11.18)

6. その他特記事項

美里地域だより1月号に掲載・(掲載記事は別添のとおり)報道(新聞)にも記事が掲載された(新聞記事の切り抜きは別添のとおり)





地域だより「みさと通信」は、年4回の発行 次号は、4月1日発行です。

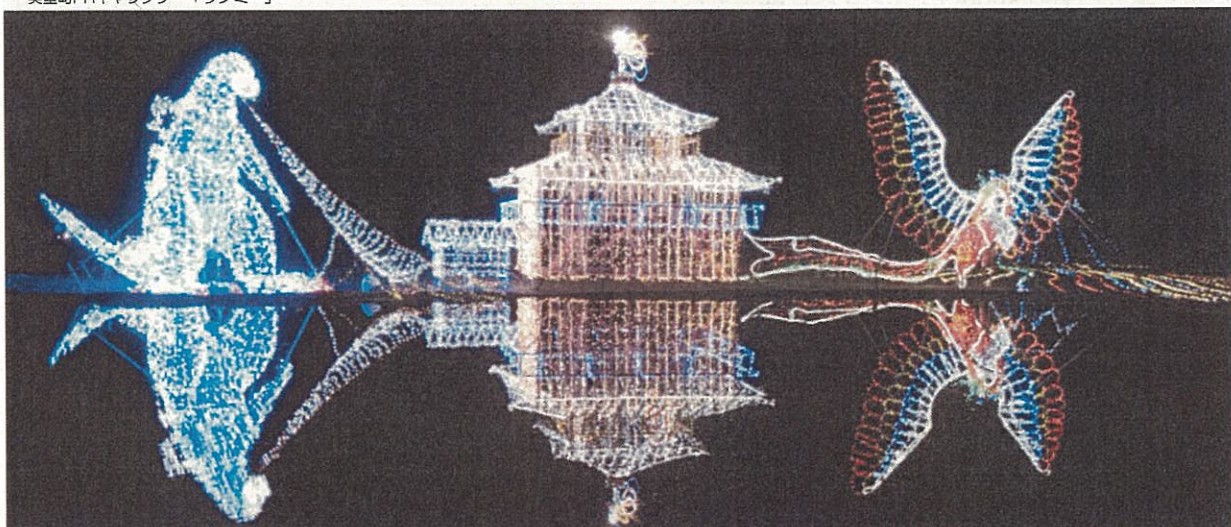


美里町PRキャラクター「ラブミー」

# みさと通信

平成27年1月1日発行  
第43号 冬 winter quarter

編集発行/  
津市美里総合支所  
地域振興課  
☎ 279-8111



## ～「新たな輝き」～ 南長野イルミネーションファンタジー2014

12月6日(土) 今回で12回目となるイルミネーションの点灯式が南長野生活改善センター前で、行われました。このイルミネーションは、デザインから組み立てまで南長野十二志会の皆さんが手掛けており、美里の冬の風物詩になっています。

約20万個のイルミネーションが水面に美しく反射し、より美しい輝きを放ちながら、訪れる皆さんの目を楽しませています。

### ◆とき

12月6日(土) から1月10日(土) まで  
毎日17時30分～22時

### ◆ところ

南長野生活改善センター前



撮影-松原 豊 (公益社団法人日本写真家協会会員)

## 美里中学校文化祭

10月25日(土) 第43回美里中学校文化祭が美里文化センターで開催されました。

学年劇や音楽部の発表、作品展示など様々な催しが行われました。

